

1 事業概要

事業名	みしまぎょこう 見島漁港 特定漁港漁場整備事業		
事業場所	みしまほんむら 萩市見島本村、みしまうづ 萩市見島宇津		
事業主体	山口県	事業方法	● 国庫補助 ○ 単独
事業期間	平成 14 年度 ~ 平成 24 年度		
総事業費	7,642 百万円		
事業目的	<p>地元漁船の航行・係留に対する安全性・利便性の向上を図るとともに、大型定期船航路の安全航行を確保するための航路改善を行う。</p> <p>近年の燃油高騰に伴う漁業経費の上昇の対策として、本土の漁船の一時停泊や再出港の準備を行う前進基地としての整備を行う。</p> <p>出荷調整を行う蓄養水面の堆砂対策を行い、水産物の安定供給を図るとともに浚渫に係る維持管理費も低減させる。</p>		
事業内容	<p>(本村地区) ・防波堤 L=240m ・岸壁(物揚場) L=586m</p> <p>・護岸 L=197m ・泊地浚渫 V=6,400m³</p> <p>(宇津地区) ・防波堤 L=380m ・泊地浚渫 V=10,000m³</p> <p>・道路 L=73m ・施設用地 A=592m²</p>		

2 事後評価の視点

(1) 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	
【費用対効果分析】	
区 分	事業採択時・ <u>計画変更時</u> ・再評価時
評価基準年	平成19年度
事業費	6,974 百万円
事業期間	H14年度 ~ H23年度
費用対便益比	B/C= 1.4
【要因変化の分析】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費は、約1割の増。 ・ 事業期間は、1年延伸。 ・ 費用便益は、約1割の減少が見込まれる。 	
(2) 事業の効果の発現状況	
【事業の効果の発現状況】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防波堤の整備により、泊地の静穏性を確保し、荒天時の船の管理に係る負担を軽減した。 ・ 岸壁や物揚場の整備により、係留作業や資材の積み込み作業に係る効率性や安全性を確保した。 ・ 泊地の浚渫を行い、航行の安全性を確保した。 	
【事業の効果の発現状況に対する評価】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者から、泊地の静穏性が確保されたことで、安心して係留することが出来ると好評を得ている。 ・ 見島漁港は、漁業活動の拠点施設だけでなく、本土との唯一の交通手段である大型定期船の寄港地であり、漁港の整備は島民の生活基盤の安定に寄与している。 	

(3) 事業実施による環境の変化

【変化の状況】

① 自然環境への影響

- ・ 防波堤の整備により、波浪による影響を抑え泊地内の静穏度が向上した。

② 生活・住環境等への影響

- ・ 防災対策として耐震岸壁を整備したことにより、地域住民が安心して生活できる環境が向上した。

③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）

- ・ 汚濁防止膜を設置し濁水対策を行った結果、漁業被害等の報告はなかった。

(4) 社会経済情勢の変化

【変化の状況】

① 社会経済状況及び事業環境等の変化

- ・ 特に見受けられない。

② 関連計画・関連事業の状況の変化

- ・ 特に見受けられない。

(5) 今後の事後評価の必要性

- ・ なし

(6) 改善措置の必要性

- ・ なし

(7) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

- ・ なし

見島漁港 特定漁港漁場整備事業 【事後評価】

見島漁港 (本村・宇津地区)

